

通信文化新報

発行所
株式会社通信文化新報
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-5-1
大晃ビル2F
電話 (03) 3219-6213
FAX (03) 3219-6000
Eメール shinpou@tsushin-bunka.co.jp
URL https://www.tsushin-bunka.co.jp
振替口座 00150-3-484473

年間10,560円
(税・郵送料込み)

福祉施設利用者が見学

(群馬県)
館林郵便局

「縁(えん)があつて皆は、福祉施設利用者の局内見学会を8月26日に開催しました。楽しんでいました。僕は、児童発達支援放課後等デイサービスを運営する「縁フォールド明和」と「縁(ゆかり)」の2事業所の利用者9人と職員4人を受け入れた。

（群馬県）EV二輪車で記念撮影
（館林郵便局）
（石川貴男局長）
（石川貴男局長）



贈呈式に出席した皆さん

いざれも株式会社縁ぐるープ傘下で、代表取締役を務めるのは日本郵便OBの加藤満広さん（元舞岡駅前郵便局長）。夏期見学習の一環として館林郵便局に見学を依頼したところ、快諾を得た。館林郵便局は、石川局長、柿沼利幸郵便部長、岩崎祐嘉集配営業部長、総務部の堤誠課長らが対応し、利用者と職員は館林郵便局が用意した思いがけない、すばらしい体験を味わうことができた。

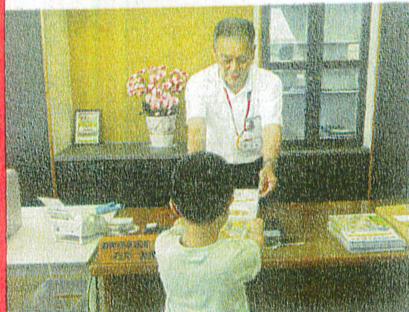
その後、集配営業部を見学した後、地上駐車場に集合。石川局長が館内に集まつた。堤課長は、午後3時に全員が局長室に集合。石川局長が館林郵便局について分かり易く説明した後、一人ひとりにお土産（小冊子「お最新の設備を整えて郵便局もエコに取り組んでいます」と手渡すと、利用者が「やったー」「ありがとうございます」と喜び、利用者は二輪車にまたの声が上がつた。石川局長は、利用者全員と一緒に見学するところが、順番に記念撮影が行われた。郵便局のバイクは、クにまたがることは初めての経験。ニコニコしたう。

利用者から心のこもった記念品を受け取る石川局長

ポストに投函する利用者。嬉しそうな表情だった

石川局長から利用者一人ひとりにお土産が贈呈された

最新鋭EVの二輪車にまたがる利用者



ボーナス制度を拡充 ゆうちょPay

年賀寄付金の 配分団体公募

出資により新しい法人ビジネスである「エビジネス」を推進する。同会社、株式会社ジエイファンド総額は約20億円、設立日は8月30日、存続期間は15年間。イ・ウィル・グループ。

日本郵便は8月30日、2025年度年賀寄付金配分団体の公募を9月9日から開始すると発表した。2025年度の配分では、「東日本大震災、令和6年能登半島地震の被災者救助」の特別枠を設定する。

ゆうちょ銀行は8月30日、追加する主な対象サービスとポイント進呈条件を設定する。配分事業分野は一般枠で①ゆうちょ通帳アプリ、②活動・チャレンジプログラム、③施設改修④機器購入⑤車両購入、特別枠では東日本大震災、令和6年能登半島地震の被災者救助・予防（復興）

サービスを10月1日から追加し、進呈ポイントを最大10ポイント（10円相当）／月、②ゆうちょPayカード／月、③ゆうちょレコの払込票払いの利用は10回に拡充すると発表し、④家計簿アプリ「ゆうちょレコ」の計6分野。

ゆうちょ銀行は郵便局アプリ「ゆうちょPay」の利用によるポイント／月、③家計簿アプリ「ゆうちょレコ」の計6分野。